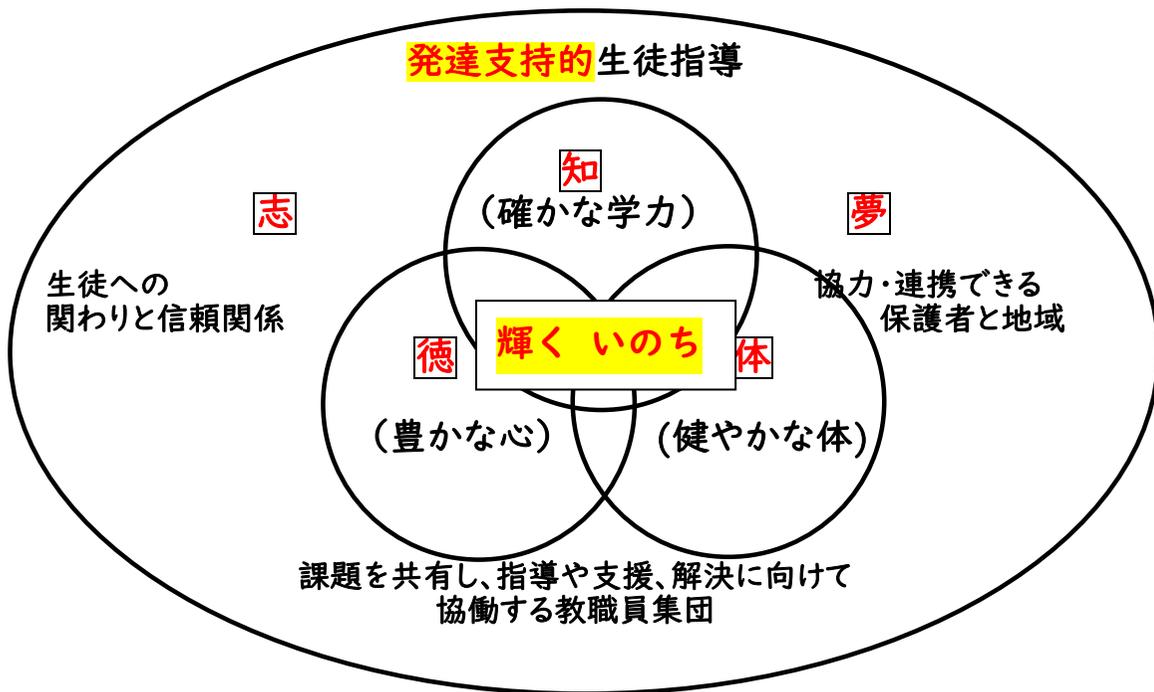


1 【校訓】 創造・協調・実践



2 【学校教育目標】 (めざす生徒像) 生徒と向き合い育んでいく

いのちを輝かせ、主体的に行動できる生徒の育成  
(↑知・徳・体に励み、夢や志をいだし)

- ①自ら学び、考え、判断できる生徒
  - ②自らを律し、努力を惜しまぬ生徒
  - ③他を思いやり、共感できる生徒
- よいことはほめ、正すべきことは正す  
日々の授業、行事、集団づくり  
学級活動や部活など

3 【学校努力目標】 (めざす学校像) 願いをこめて迫れる教職員

課題を共有し、指導や支援、解決に向けて協働する輝く教職員集団

- ①規律と礼節を重んじ、清潔で美しい学校文化 あいさつや清掃活動
- ②認め合い、支え合い、高め合う生徒集団 失敗を認め合える集団づくり
- ③本気で取り組み感動を生み出す生徒活動

## 4 【学校重点課題】（今年度の目標）

教職員が新しいことへのチャレンジを含め、輝く集団づくりを全員で協働する。

- ② 目標に準拠した授業づくりと適正な評価の追求
- ③ 道徳完全実施における学期ごと評価・行事の精選
- ④ クラス担任制から、複数担任の意識でそれぞれが協働的にかかわる。
- ⑤ 生徒の自主活動と心の教育の充実（生徒が行動しやすい仕掛けを）

### <いのちを輝かせるために>

**知（確かな学力）** 課題解決・問題提起のちからへつなく。これからの社会を生き抜く力を育む。

- ・学力向上茨木っ子ネクスト5.0プランに基づく確かな学力の習得を目指す。
  - ・基礎学力の定着のため、反復学習や放課後学習、家庭学習を充実させる。
  - ・思考力、判断力、表現力といった応用し活用する力を身につけさせる。
  - ・集団づくり、生活指導、人権教育と連動した学習集団を育成する。
- ・生徒の学ぶ意欲の向上をめざした「わかる授業づくり」を浸透させる。
  - ・観点、規準、場面を明確にした、授業と一体化した適正な評価を行う。三観点への対応。
- ・情報教育の推進と管理、モラルの指導を徹底する。（ライン等 SNS のトラブル）
- ・朝の読書タイムをはじめとする読書活動を推進する。

**徳（豊かな心）** 人として大切な心を学び、成長を促す。願いを込めて迫る

- ・生徒の人権感覚を大切にし、いじめや暴力のない安心のできる場所とする。
- ・自分と同じように人を大切にできる、認め合える集団づくりをすすめる。
- ・自身と集団のあり方を考え、規範意識や自律した生活態度を育成する。
  - ・様々な行事や体験活動を通して生徒の自主性や主体的行動力を養い育てる。
- ・道徳の時間を核とした学校生活のあらゆる場面で道徳的な行動を身につける。
- ・「ともに学びともに育つ」支援教育の視点を通して、豊かな人間関係を築く。
  - ・生徒の個性の伸長を図り、進路や将来に向けての展望を持たせる。

**体（健やかな体）** 健やかな体は、健やかな心を育む

- ・たくましく生きる体力づくり、スポーツ活動・行事に取り組む。
- ・健康教育を通して生活習慣や食生活など自身の健康と体に目を向ける。
- ・保健安全教育、安全指導を充実させ、学校安全と危機対応を常に意識する。
- ・体育活動・行事、体験活動、部活動を充実させ、活力ある雰囲気醸成する。

- ① 失敗を恐れず、受け入れ、次につながる活動を!
- ② 生徒との信頼関係を築き、思春期・発達段階をおさえて迫りましょう。
- ③ 保護者・地域との連携をしっかりととり、お互いの表情をみて、思いをわかりあう。  
（問題行動対応のベースは家庭訪問 or 来校で。電話完結はラストの手段）

## 学校長より

### 【1】『つむぐ』

ここ数年で、天王中教職員が大きく、入れ替わっています。5年以上の在籍者は、14人/43人 32.6%です。

今まで多くの先生方が、天王中で培ってきたこと、大事にしてきたこと、これら実践の積み重ねで今の天王中があります。新しく来られた先生には、これらを踏まえながらも、新しい風で、みなさんの経験で、よりよい天王中を一緒につくっていきたいと考えています。

〈文化の踏襲〉でも、〈前年にならって〉でもなく、パッチワーク的な「代打」でもありません。お願いしたいことは、『つむぐ』ことです。

### 【2】『いのちを輝かせ、主体的に行動できる生徒の育成』

●『輝くいのちプロジェクト』を具体的に推進していきます!!  
子どもたちが輝く場面を意識的に創り、価値を生み出していく学校をみんなで創りたいと思います。

そのうえで

(学校組織として) ①スクラップ & ビルド  
(個人として) ②スピード→量→質



満足度の高い学校(職場環境)

### 【3】R7 キーワード

- (1) 『輝くいのちプロジェクト』の推進
  - ・行事を通じて、輝くいのちを育む
  - ・各教科のカリキュラムに盛り込み、教科横断的ないのちの育成
- (2) 不登校の減少 (新規を減らす!!)
  - ・初期対応→初回を寝かさない 3日連続欠席で家庭訪問  
【初期投資で後の対応時間を買う】
  - ・連続したつながり
- (3) 働き方改革の推進
  - 平均時間外労働時間を R7: Under40h を目指します。(R6 は45h)
  - 年休等を取得しやすい環境づくり 有給取得15~20日を目指します